

令和元年10月25日の豪雨災害について

令和元年10月25日の豪雨災害におきましては、わずか半日で1か月分の雨が降るなど未曾有の豪雨となり、当館が所在する佐倉市域におきましても河川の氾濫などによる浸水被害、土砂崩れなど大きな被害が発生いたしました。被害に遭われました皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

今回の豪雨は、台風15号、19号による甚大な被害に見舞われた直後であったこともあり、当館が所在する佐倉城址公園におきましても、城址公園斜面の崩壊並びに当館駐車場の舗装陥没による住宅地への土砂流入、城址公園愛宕坂付近の斜面の崩壊による遊歩道の土砂崩れが発生したとともに、当館施設（総合研究棟）法面の崩壊や館内雨漏り等、昭和58年の開館以来これまでに経験したことのない甚大な被害に見舞われました。

当館では、土砂崩れにより被害に見舞われた近隣住民の方々へのご支援をはじめ、市が管理する敷地とまたがる災害現場復旧の協力体制の要望等について、地元佐倉市長に申し入れており、市と協力して復旧・復興に取り組んでいく所存でございます。

また、今回のようにこれまでの経験や想定を超える災害に遭遇したことを踏まえ、今後、より一層の備えや対処に取り組んでまいりますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

令和元年11月22日
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館長 久留島 浩